

# 学校だより



教育目標：自ら考える子・思いやりのある子・たくましい子  
HP <https://www.nerima-tky.ed.jp/shikinokaori/>

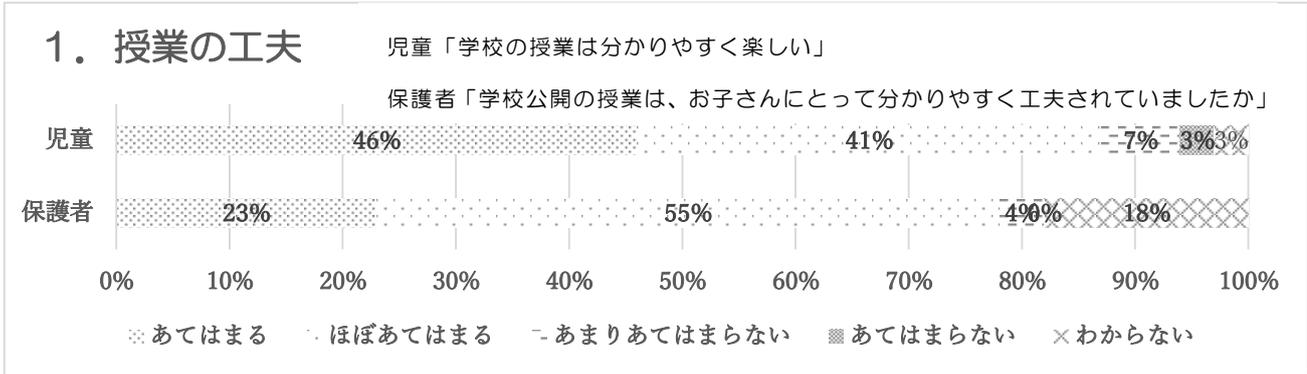
令和5年2月1日  
TEL 03-3977-2711  
校長 繁田 幸江  
第145号

梅の蕾がほころぶ季節となりました。地域の皆様、保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。

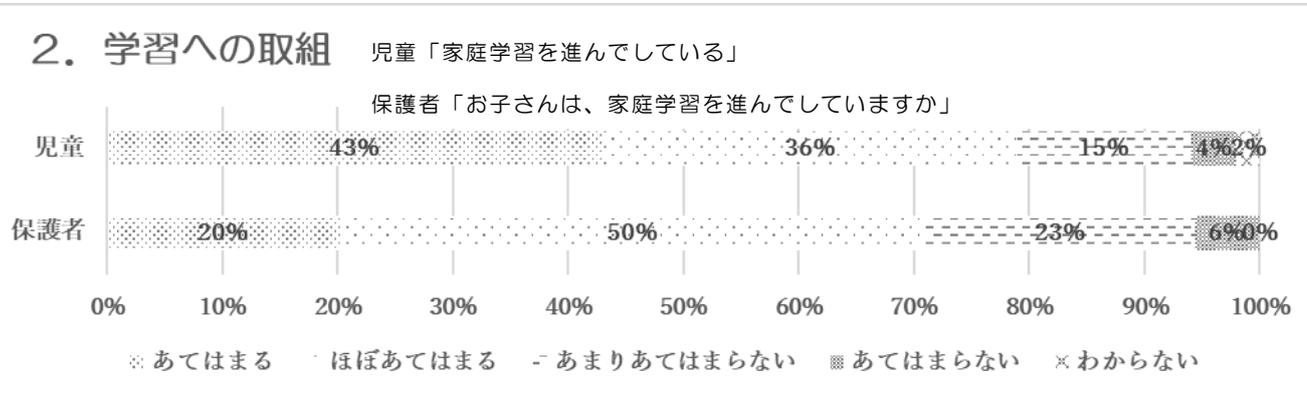
さて、本年度の教育活動につきまして、保護者の皆様にアンケートの御協力をお願いしましたところ、多くの回答をいただきました。誠にありがとうございました。

集計がまとまりましたので、お知らせいたします。この結果を次年度の教育計画に生かしてまいります。これからも、よろしくお願い申し上げます。

令和4年12月実施      <回答数>      (保護者) 228      (児童) 380



児童の87%は、「学校の授業は分かりやすく楽しい」と答えています。また、保護者の方の78%は、「学校公開の授業は分かりやすく工夫されている」と答えています。今後も、児童が主体的に学び、分かる喜びのある授業を行っていきます。また、学校公開等で児童が主体的に学ぶ姿を参観していただきます。

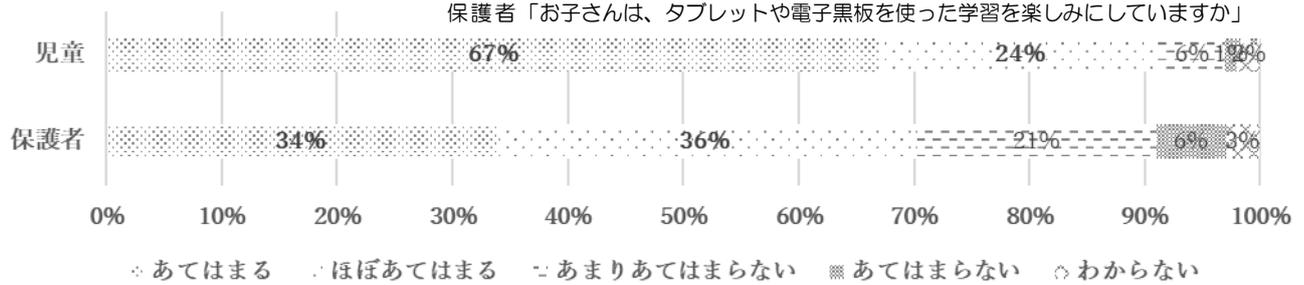


児童の79%が、「家庭学習を進んでいる」と答えています。約20%の児童は否定的です。また、保護者の方も、約30%が否定的な回答です。今後は、学校の授業だけでなく家庭学習の内容も学年に応じて工夫してまいります。また、1年生から児童に家庭学習の習慣をつけ、基礎学力の定着に努めてまいります。

### 3. ICTを活用した学習

児童「タブレットや電子黒板を使った学習は分かりやすく楽しい」

保護者「お子さんは、タブレットや電子黒板を使った学習を楽しみにしていますか」

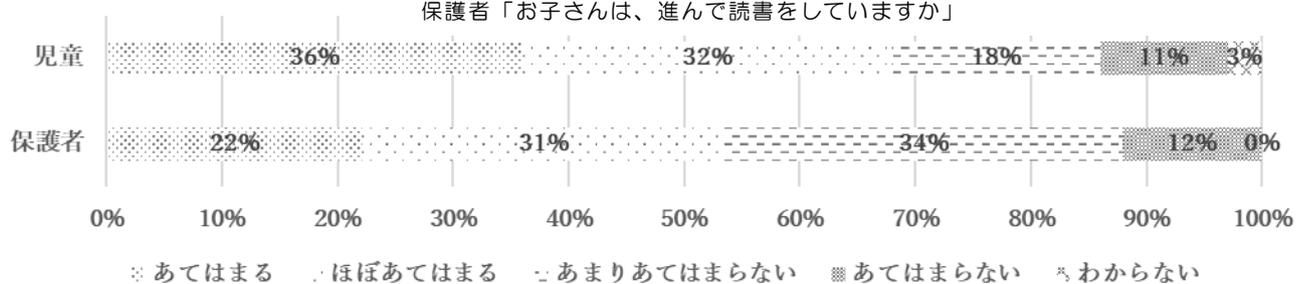


児童の91%が、タブレットや電子黒板を活用した授業を楽しんでいると感じています。日頃からタブレットを活用して授業や教育活動を行っている成果が表れています。一方で、保護者の方の27%は、「お子さんは、タブレットや電子黒板を使った学習を楽しみにしていますか」という問いに、否定的な回答でした。今後も、タブレットを効果的に活用した授業を学校公開でお見せしたり保護者会等で児童の姿をご紹介したりしていきます。

### 4. 読書教育

児童「家や学校で進んで読書をしている」

保護者「お子さんは、進んで読書をしていますか」

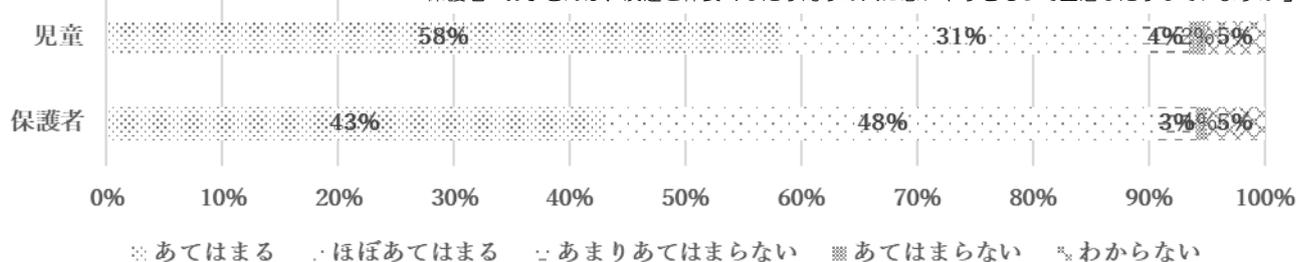


児童の約30%が「家や学校で進んで読書をしている」という問いに否定的です。また、保護者の方の46%も「お子さんは、進んで読書をしていますか」という問いに否定的で、特に家庭での読書離れの傾向があると思われます。今後は、朝読書や親子読書など学校や家庭での読書時間を増やすとともに、図書ボランティアや光が丘図書館と連携した読み聞かせやブックトークなどの教育活動を推進し、読書に親しむ児童を育てていきます。

### 5. 友達とのかかわり

児童「友達と仲良くしたり周りの人に思いやりをもって生活したりしている」

保護者「お子さんは、友達と仲良くしたり周りの人に思いやりをもって生活したりしていますか」

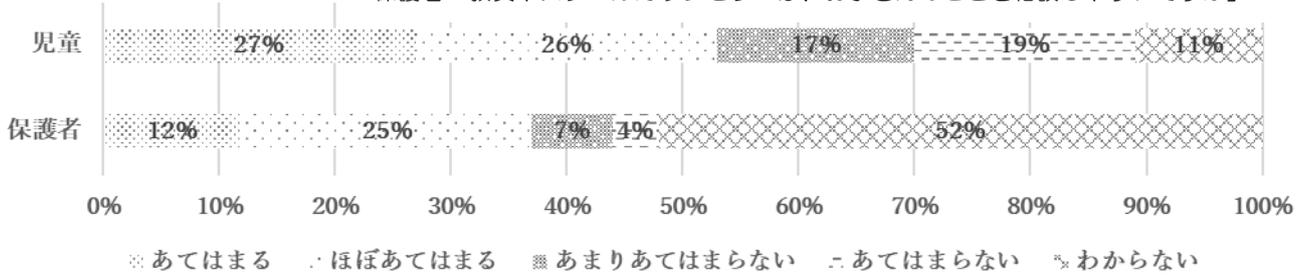


「友達と仲良くすること」は、児童89%、保護者の方91%と、共に肯定的な回答が多いです。学校生活では、いじめや仲間外れなどのない温かい友達関係が何よりも大切です。今後も、兄弟班活動や異年齢集団等で交流活動を行ったり、道徳の授業や学級活動などを充実させたりして、児童に思いやりの心を育てていきます。また、いじめの早期発見・早期対応に努め、友達と温かい関係が築けるように学校・家庭・地域で見守ります。

## 6. 相談体制

児童「困ったときに学校の先生や相談室の先生などに相談している」

保護者「教員やスクールカウンセラーは、お子さんのことを相談しやすいですか」

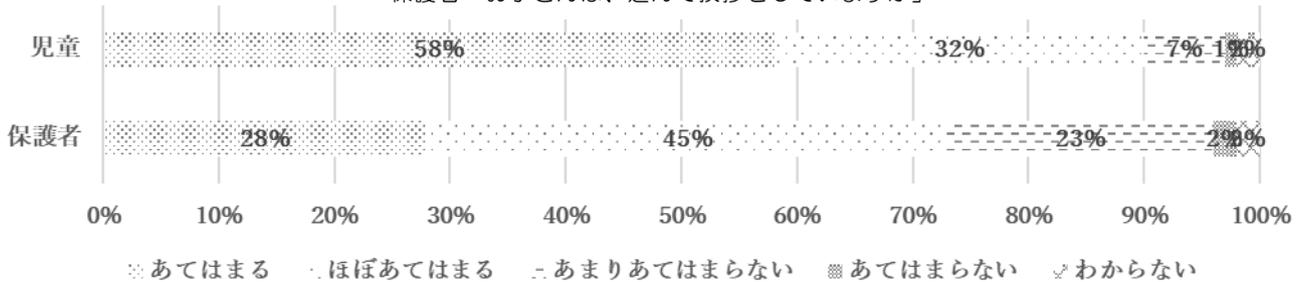


「困ったときに先生や相談室の先生に相談している」と答えた児童は53%、「相談しやすい」と答えた保護者の方は37%と少ないです。「わからない」と答えた保護者の方が52%と多いのは、相談したことがない方が答えにくかったことが考えられます。今後も、相談室の相談体制について児童や保護者の方に周知し、相談しやすくします。また、担任だけでなく、教職員の誰にでも児童や保護者の方が相談しやすい雰囲気を作っていきます。

## 7. あいさつ

児童「進んであいさつをしている」

保護者「お子さんは、進んで挨拶をしていますか」

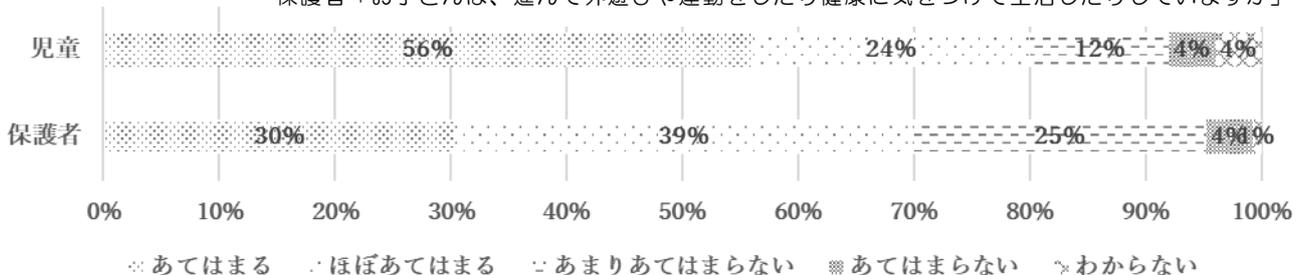


児童の90%は、「進んであいさつをしている」と答えています。これは、挨拶指導の成果が児童の意識に表れていると言えます。一方、保護者の方の25%は、「お子さんは進んで挨拶していますか」という問いに否定的です。学校だけでなく地域や家庭でも進んで挨拶ができるように、家庭や地域と連携して指導していきます。また、代表委員会など児童主体で「挨拶運動」に取り組み、挨拶の輪を広げていきます。

## 8. 体力向上

児童「進んで外遊びや運動をしたり健康に気をつけて生活したりしている」

保護者「お子さんは、進んで外遊びや運動をしたり健康に気をつけて生活したりしていますか」

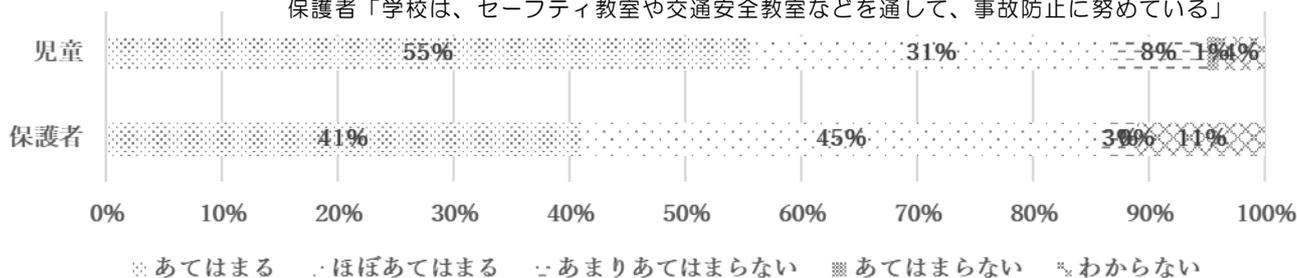


児童の80%は、「進んで外遊びや運動をしたり健康に気をつけて生活したりしている」と答えていますが、16%は否定的です。保護者の方の約30%も否定的な回答です。進んで運動する児童と運動しない児童との二極化が考えられます。今後は、体育の授業を中心に縄跳び月間・持久走月間など全校の取組を工夫し、児童に運動の楽しさを味わわせます。また、低学年から外遊びを奨励して運動量を増やし、体力の向上を図っていきます。

## 9. 安全指導

児童「学校や家庭・地域で、自分や周りの人の安全に気をつけて生活している」

保護者「学校は、セーフティ教室や交通安全教室などを通して、事故防止に努めている」

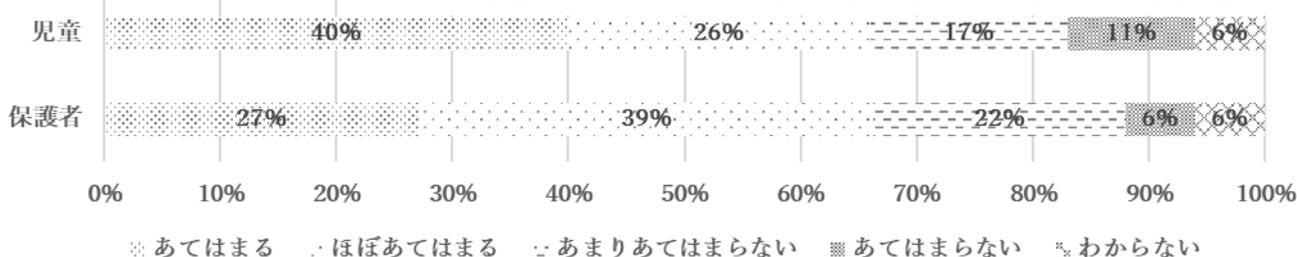


児童の 86%は「自分や周りの人の安全に気をつけて生活している」と答えています。また、保護者の方の 86%は、「学校は、セーフティ教室や交通安全教室などを通じて、事故防止に努めている」という問いに肯定的です。今年度は学校公開日にセーフティ教室を行い、たくさんの保護者の方に観ていただき、その成果が表れていると言えます。今後も、交通安全教室やセーフティ教室等地域や家庭と連携した安全教育を積極的に行い、児童自身が自分や周りの人の安全を守れるように育てていきます。

## 10. 地域とのかかわり

児童「地域の学習や活動を通して、地域のよさを知ったり好きになったりした」

保護者「お父さんは、地域の学習や地域行事に楽しく参加していますか」

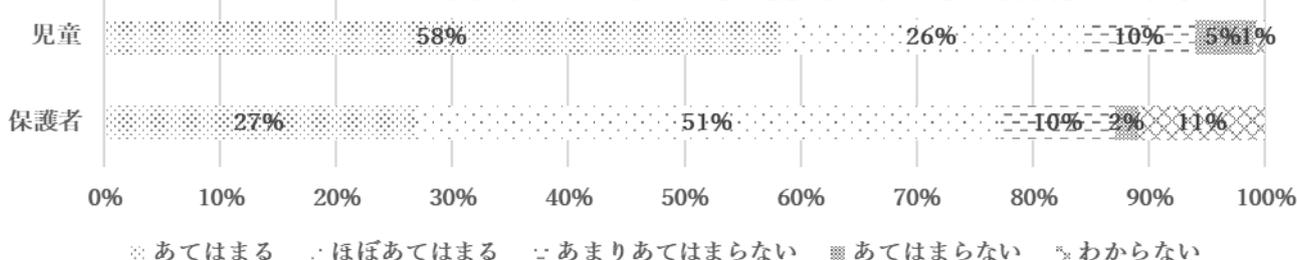


「地域の学習や地域行事に楽しく参加している」と答えている児童が 66%、保護者の方が 66%と、昨年度より 5~7%ほど増えています。これは、今年度、校内研究で地域学習に取り組み、積極的に地域を探検したり地域の方をゲストティーチャーに招いて話を伺ったりした成果が表れていると言えます。今後も、地域学習を通して、地域への興味や関心を育て、地域の一員として地域を愛する児童を育てていきます。

## 11. 教育活動の発信

児童「学校のことなど、家族と話をしている」

保護者「学校は、HPや学校だより等で保護者や地域に対して積極的に情報を発信していますか」



児童の 84%は、「学校のことなど、家族と話をしている」と答えています。また、保護者の方の 78%は、「学校は、HPや学校だより等で保護者や地域に積極的に情報を発信している」という問いに肯定的で、昨年度より 7%ほど増えています。今後も、ホームページや学校だより・一斉メール等で教育活動や児童の様子などを積極的に発信します。また、学校公開や保護者会等を通じて、直接ご説明していきます。